

先輩職員からのメッセージ

H25年度入庁

M さん

にぎわい創出課 観光・地域PR担当



現在の仕事について

小川町と聞いて、小川の和紙や七夕祭りを思い浮かべる方も多いかと思います。

にぎわい創出課では、和紙の普及宣伝や七夕祭りの企画・運営、観光施設の管理、ホームページやSNSを活用した情報発信、企業誘致など町の賑わいを創出する事業を中心に行っております。

小川町を受験したきっかけについて

小学校、中学校、高校と地元小川町の学校を卒業し、小川町役場に就職しました。

「小川町のために何かできることはないか、小川町のために何かしたい」と思ったのが受験したきっかけです。

皆さんへのメッセージ

小川町には、和紙だけではなく、日本酒、地ビール、ワイン、豊かな自然や有機農業、歴史的景観や文化財など、たくさんの魅力があります。

町の人々の温かさや町の人とのつながりが、この町の最大の魅力ではないかと思っています。

古きよきものを残し、新しいものを取り入れて変わっていく小川町。小川町のために何かしたい。小川町が好きだ。そんな思いを持った人と仕事ができるのを楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ

H25年度入庁

T さん

政策推進課 財政担当



現在の仕事について

私は、政策推進課で財政担当を務めています。財政担当とは、その名の通り、町の財政運営を担う担当です。

主な仕事としては、町のお金の使い道を定める予算の編成、また、その執行に関するといったお金にまつわる仕事というイメージになります。

予算は、すべての課に関わることのため、各課の業務を知ることでもできる、大変やりがいのある仕事です。

職場の雰囲気について

私が所属する職場の雰囲気は、みんなで支えあう協力的な職場といった感じです。

私自身は、1か月間、育児休業を取得していましたが、職場の協力があって、子育てに専念することができましたし、先輩同士にすぐに相談することができる雰囲気だと思います。

自ら考えて、ゼロから結論を出すことも非常に重要ですが、スピードが問われる仕事も多くあるため、すぐに相談ができ、助かっています。

皆さんへのメッセージ

県内の自治体の受験を考えている方は、いろいろな自治体の様子を調べているかと思います。どの市町村を受験しようと迷っている人もいますが、小川町には、やりがいのある仕事が待っていますので、ぜひ、小川町の受験を考えてみて欲しいと思います。

皆さんの入庁をお待ちしております。

先輩職員からのメッセージ

H27年度入庁

O さん

総務課付け 埼玉県市町村課



現在の仕事について

現在、2年間という期限付きで実務研修職員として埼玉県の市町村課で仕事をしています。

仕事内容は、市町村課の税制担当として、埼玉県内にある63市町村の税務職員からの問い合わせ対応や総務省からの調査依頼の回答を各市町村から取りまとめて報告するといった業務に従事しています。

小川町のいいところについて

私が小川町に住んで感じるいいところは、小川町ならではの資源を活かしたイベントを通して四季を感じられるところだと思います。

ご存知の方も多いと思いますが、夏に開催している七夕まつりなどが、有名です。その他にも、小川町には多くのイベントが行われていますので、実際に足を運んでいただき、ぜひ小川町の魅力を肌で感じてみてください。

皆さんへのメッセージ

小川町は、いいところがたくさんありますが、存在する課題を解決するためには、若い力が必要となります。

小川町のために頑張りたいという思いや熱意のある方と一緒に仕事ができれば、すごくうれしく思います。

一緒に仕事をできることを楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ

H29年度入庁

Y さん

税務課 住民税担当



現在の仕事について

私は、税務課で住民税の担当をしています。中でも、主な担当は、軽自動車税で、軽自動車の新規の登録や廃車の処理、軽自動車税の課税事務を行っています。

他にも、窓口で所得証明書の発行など、町民の方との関わりが多い部署となっております。

職場の雰囲気について

現在の職場は、チームワークで支えあっているという感じとなっております。私は、この4月に人事異動をしまして税務課に配属となりました。まだまだ、税に関しては、未熟で、窓口対応など、不慣れな面も多いのですが、先輩方が優しくサポートしてくれるので、日々、勉強しながら頑張っているところです。

分からないことがあっても、相談しやすい雰囲気があるので、安心して仕事ができます。

皆さんへのメッセージ

役場職員の仕事は、とても多様であると思っています。一口に行政といっても、職員一人一人が違った仕事を担っています。

よく役場職員の人事異動は、「転職」と言われることが多いのですが、私自身が人事異動により、以前の仕事とは、全く違う仕事となり、その言葉を実感しました。

様々な分野において、知識や経験を得ることができるのは、役場職員の魅力であると思います。職種や担当が違って、小川町のために、小川町に住む住民の皆さんのためにという気持ちで業務にあたっています。

そうした意欲を持った皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

先輩職員からのメッセージ

H30年度入庁

Y さん

総務課 広報公聴担当



現在の仕事について

主に統計調査を担当しています。統計調査は、人口、経済、教育、環境をはじめとした政府の各省庁が所管する様々な調査を実施し、そこでの結果を集計・加工することで数値を得ることを目的に実施されています。

私はその中でも、実際に調査を行う調査員さんの管理や調査票の集計を行っています。統計調査で得られた数字は、市町村議会の議員定数や地方交付税、町で実施される施策の大きな基礎となっています。

自分が中心となって実施する調査のひとつひとつが、町の発展に貢献できていることを日々実感しています。

職場の雰囲気について

職員一人一人が黙々と仕事をしているというよりは、困ったことがある場合には、活発に情報交換やお互いにフォローするという温かい職場であるとともに、若手の職員が、発言しやすい環境であり、先輩方も若手職員がよりステップアップできるように答えてくれるような職場だと感じています。

また、休憩時間や終業後の時間は、話に花が咲くことが多く、全体的に和やかな雰囲気を持つ職場です。

皆さんへのメッセージ

私は、25歳の時に民間企業の事務職から小川町職員に転職しました。転職が決まった当時は、前職と公務員の仕事が大きく異なっていたことから、小川町職員になれたけれども、前職と違うことも多く、やっていけるのかと考えることもありました。

しかしながら、今はそう思うことはありません。仕事内容が違っていても、電話対応やパソコンのスキル接遇対応など、前職で培った経験は力となりますので、仕事をしながら公務員を目指している方、その力を小川町職員として活かしてみませんか。